



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう

解答例



静岡新聞

2022年 6月3日朝刊

記事を読んで、問いに答えなさい。



奈良県大和郡山市の事故現場を調べる警察官ら。踏切手前の点字ブロックの一部がはがれていた
＝4月27日

Q 道路のバリアフリー指針 高齢者、障害者らを含む全ての人にとって使いやすい道路、バス停、駐車場などを目指し、国土交通省が今年3月策定した。自治体など道路管理者向けの目安となる。義務付けを含め最低限必要な「円滑化基準に基づく内容」、積極的な整備を求める「標準的」、さらに高い水準の「望ましい」の3段階に分け、歩道の幅や段差、スロープ、手すり位置、点字ブロックの設置基準、配置例などを示している。

国土交通省は1日、踏切に点字ブロックを設けるよう、道路のバリアフリー指針を月内にも改定すると明らかにした。前方に踏切があることや、踏切内に立ち上っていることを視覚障害

者が認識しやすくする。奈良県大和郡山市で4月、目の不自由な女性が電車と接触し死亡した事故を受けた対策。義務付けではないものの、道路管理者の自治体に積極的な対応を促してい

く。大和郡山市の事故現場は、踏切内に点字ブロックはなく、踏切手前のみ設置されていたが一部がはがれていた。指針改定では摩耗、破損について日常点検

踏切に点字ブロックを 国交省 障害者事故受け設置促す

で確認を徹底するようも求める。バリアフリー法令では、障害者らの通行が多い「特定道路」について、歩道など「必要と認められる箇所」への点字ブロック整備を義務付けているが、踏切に関する明確な基準はない。

国交省は、道路のバリアフリー対応の目安を示す指針を改め、踏切が近いことを示すブロック設置を「標準的」として明記。踏切内にも設置が「望ましい」として、鉄道事業者との連携を求める。踏切内のブロックは、線状の突起で進行方向を示す誘導用や、点状の突起を施した警告用とは異なる形とし、ブロックをたどれば踏切から逸脱せず渡れるようにする。

ただ白線で歩道が区別されていない道路は、ブロックの位置を決めにくいなどの課題もある。国交省は有識者懇談会で踏切内のブロックのデザインを含め、検討を急ぐ。

①国土交通省の「道路のバリアフリー指針」では、どのような点について整備を求めているか。

歩道の幅や段差、スロープ、手すり位置、点字ブロックの設置基準、配置例 など

②どのような事故を受けて踏切に点字ブロックを設けるよう指針を改定することになったのか。

(目の不自由な女性が電車と接触し死亡した事故。)

③この指針では、踏切内のブロックをどのようなものにするかを求めているか。

踏切内のブロックは、線状の突起で進行方向を示す誘導用や、点状の突起を施した警告用とは異なる形とし、ブロックをたどれば踏切から逸脱せずに渡れるようにする。

④さまざまな場所での点字ブロックの設置に関して、あなたが感じている課題を30字以内で書きなさい(句読点を含む)。

(例) 点字ブロックがはがれているために、たどることができない。(28字) / 点字ブロック上に荷物が置かれていて、たどることができない。(29字) / 点字ブロック上に人がいて歩行する人の妨げになっている。(27字) / 高齢者や車いすの人が点字ブロックでつまずくことがある。(27字) / 点字ブロックの誘導方向が明確でなく、目的の場所に行けない。(29字) など

作問者：静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(中学校～高校 / 社会、道徳、特別活動、総合)

年 組 名前